



- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 昨年のふれあいトークの対応状況について
- 4 平成28年度分かりやすい予算書
及び地区の事業概要について
- 5 質疑応答
- 6 おらっちゃ創生に向けて
- 7 意見交換会
- 8 閉会

市長あいさつ

昨年度のふれあいトークの 対応状況について

■これまでの質問や要望の対応

28まちづくり
ふれあいトーク

対応済

- 1501-旧余川小学校体育館の天井
- 1503-国勢調査の宣伝について
- 1504-稲積・谷村線の傾斜による排水

28年度内

可能

29年度以降

未定

1502-市道と畑の境目

参考意見

1505-電気柵の助成

1506-コミュニティバスの増設

■これまでの質問や要望の対応

28まちづくり
ふれあいトーク

1501-旧余川小学校体育館の天井修繕 H28.1月完成



修繕前



修繕後

■これまでの質問や要望の対応

28まちづくり
ふれあいトーク

1504-稲積・谷村線の傾斜による排水修繕 H28.6月完成



■これまでの質問や要望を4つの基本目標に分類

28まちづくり
ふれあいトーク

1.安定した雇用を創出する

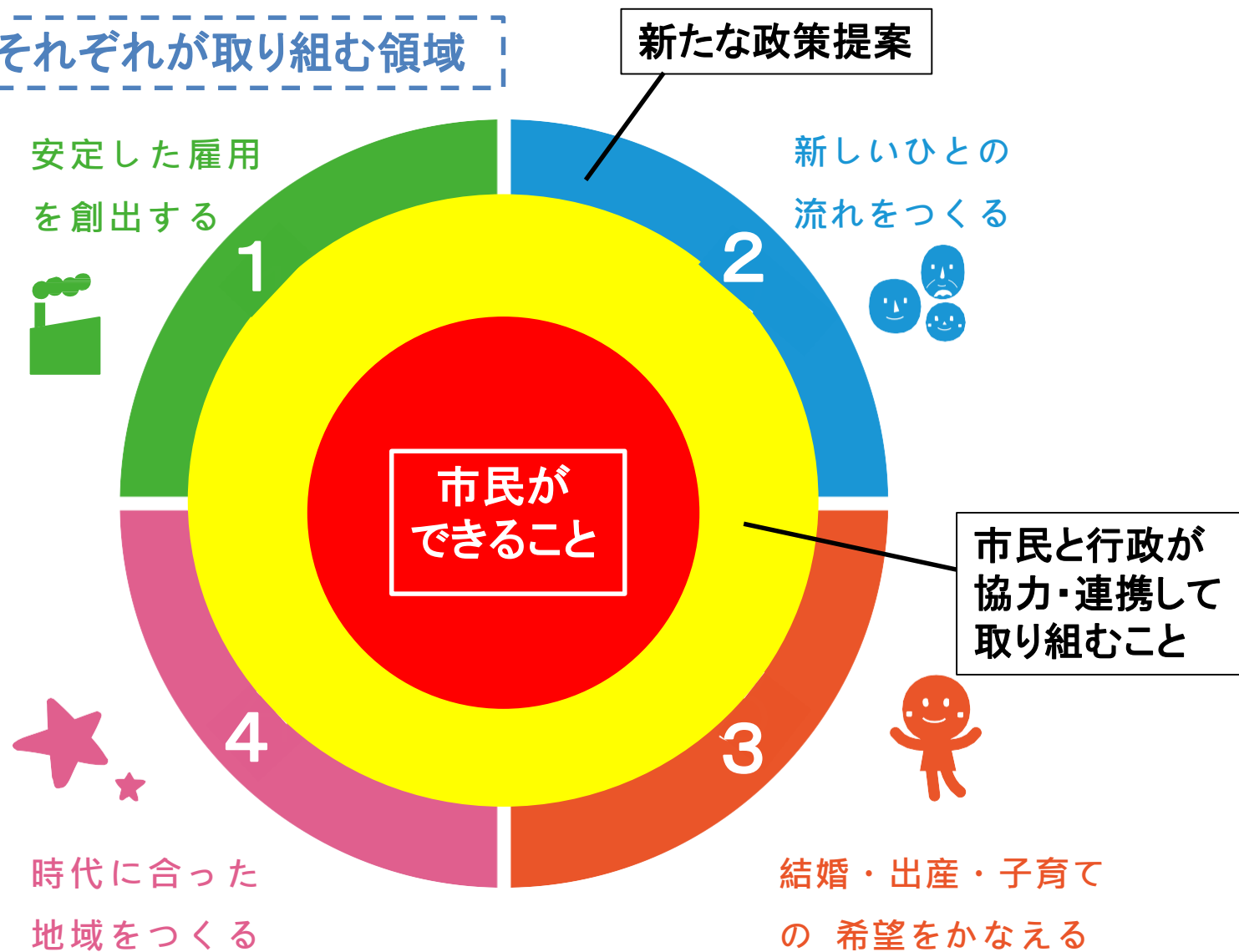
2.新しいひとの流れをつくる

4.時代に合った地域をつくる

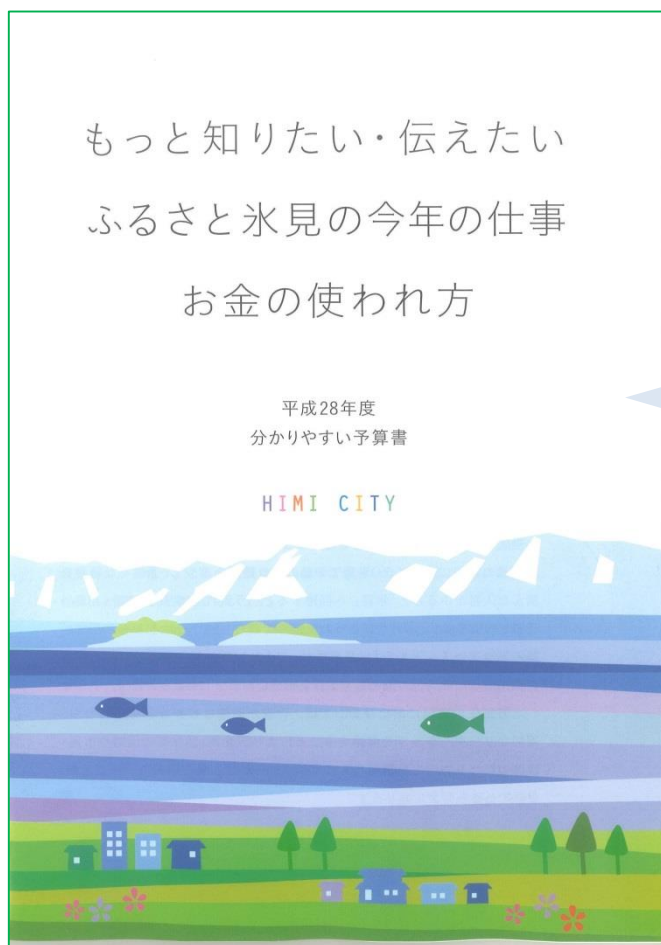
- 1501-旧余川小学校体育館の天井
- 1502-市道と畑の境目
- 1503-国勢調査の宣伝について
- 1504-稲積・谷村線の傾斜による排水
- 1505-電気柵の助成
- 1506-コミュニティバスの増設

3.結婚・出産・子育ての希望をかなえる

地方創生・それぞれが取り組む領域



平成28年度分かりやすい予算書



この1冊で
氷見市の予算が
財政が
「見える・分かる」

氷見市総務部財務課

1 発刊のねらい

人口減少時代における地方創生の地域づくりを進める上で、現在の氷見市の財政状況や、市民の皆様からお預かりした大切な「公金」の使い道について、積極的な情報公開を進めることにより、氷見の未来政策への理解を深めていただき、「協働（＝おらっちゃ創生）のまちづくり」を推進することを目的としています。



2 予算書の内容

平成28年度分かりやすい予算書の構成は、次のとおりです。

(1)	氷見市の予算と財政状況
(2)	平成28年度予算の個別事業紹介
(3)	暮らしの情報編



(1) 氷見市の予算と財政状況

- Q1 平成28年度予算の概要はどのようになっていますか？**
- Q2 氷見市民“一人当たり”どれだけの予算があるの？**
- Q3 氷見市の予算にはどんな《収入》があるの？**
- Q4 氷見市の予算にはどんな《支出》があるの？**
- Q5 氷見市の財政の現状は？**
- Q6 氷見市の貯金と借金はどれぐらい？**
- Q7 氷見市の資産の現状と今後の見通しは？**

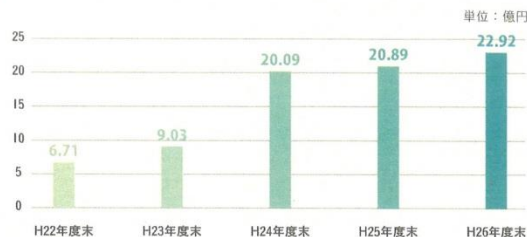
「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

(1) 氷見市の予算と財政状況

Q6 氷見市の貯金と借金はどれくらい？

A

氷見市の財政調整基金（いわゆる貯金）の残高は、次のとおりです。



ポイント

- 財政調整基金は、急激な収入の落ち込みや災害の発生などにより一時的に多額の経費がかさむなどの不測の事態に備えて積み立てるものです。
- ここ数年は、財政調整基金の残高は増加傾向にありますが、今後のまちづくりのための事業に備え一定程度の残高を確保する必要があります。

氷見市の債務（いわゆる借金）の残高は、次のとおりです。



ポイント

- ここ数年は、借入金の繰上償還の実施に伴い、債務総額は徐々に減少してきています。
- しかし依然として過去の借金の返済に要する経費が市の予算に占める割合が高いことから、今後も新規の借入れなどについて適正に管理する必要があります。

ここまですを振り返って…

ここまで、氷見市の平成28年度の当初予算の概要と、財政の現状について紹介させていただきました。

借金負担（実質公債費比率）や財政の自由度（経常収支比率）などの指標や、貯金（財政調整基金）、借金（債務総額）の残高をもとに財政の現状をみると、氷見市の財政は概ね健全性を保っている状態といえます。

一方で、

- ① 人口が減少すると、市税や地方交付税の減少につながる
- ② 市の資産（道路、保育所、学校施設、公園等）の更新時期を迎え、サービス水準を維持するには、修繕等の更新費用がかかること

などの、将来予測に立って、バランスのとれた人口の増加につながる支出を意識し、財政の健全性を維持する必要があります。

したがって、今後40～50年先の人口予測や財政予測を見通しながら、未来の課題を先取りし、未来収益を予測して投資判断を行っていく必要があります。

次ページからは、将来に渡って更新していく「氷見市の資産の現状と今後の見通し」、人口減少社会に立ち向かうための道標である「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について詳しく説明します。

氷見市の平成28年度当初予算の内容や財政状況について、グラフ等を用いて分かりやすく記載しています。

(2) 平成28年度予算の個別事業紹介

地方創生4つのキーワード

基本目標

(P32～P41)

安定した雇用を
創出する



(P42～P53)

新しいひとの
流れをつくる



氷見
HIMICITY

時代に合った
地域をつくる



結婚・出産・子育ての
希望をかなえる



(P72～P93)

(P54～P69)

昨年10月に策定した
「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの
基本目標ごとに事業を分類し、紹介しています。

1 安定した雇用を創出する【予算額 9億910万円】

- 1) 氷見市の海・里・山の幸の魅力や、特性を活かしたビジネス化の実施
- 2) 氷見市内での資金循環の維持・加速
- 3) 子育てと両立する創業・雇用の創出

2 新しいひとの流れをつくる【予算額 2億5226万円】

- 1) 様々な世代の氷見出身者の還流(ふるさと氷見での人材の定着)
- 2) 「里海での生活と里山での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住の実現
- 3) 氷見ならではの魅力・強みを活かした交流の実現

3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【予算額 5億6945万円】

- 1) 若者が早期に結婚し、子どもを中心として家族が幸せを実感できる生活の実現
- 2) 妊娠・出産に関わる負担の軽減
- 3) 仕事と家庭の両立をしながら、子育てを楽しみと感じられる社会の実現

4 時代に合った地域をつくる【予算額 14億683万円】

- 1) 地域に住み続けるための健康的自立(健康寿命の延伸)
- 2) おらっちゃん創生(各地域・各団体等による各々の地方創生の推進による、自分ごと・みんなごと・世の中ごとの好循環の確立)
- 3) 暮らし続けられる地域社会を実現する都市空間設計
- 4) 未来共創型の自治体経営モデルの構築

(2) 平成28年度予算の個別事業紹介

◆個別事業紹介の見方

①新規・拡充・継続の別

新規事業、拡充事業、継続事業の表示

③事業の担当課及び電話番号

この事業を行う課名及び電話番号

②事業費

この事業にかかる費用の合計

拡充 地域おこし協力隊事業費

担当課 秘書・市民とともに創る未来政策課

60,899千円

前年度 12,610千円

TEL 0766-74-8011

■ 少子高齢化・将来的な人口減少により地域の担い手不足や集落機能維持が危惧されているなか、地域おこしに意欲溢れる人材を積極的に受け入れ、新たな視点で地域を見つめ、地域住民と連携して地域課題解決や地域づくり、移住・定住、起業・実践を支援します。

■ 平成27年度から第1期生6名が、都市農村交流、移住・定住、6次産業化・起業支援の各分野で、これまでの経験や技能を活かして多くの団体と連携して活動しています。

■ 平成28年度には第2期生9名を募集し、地方創生実現に向けた活動や受入れ地域や団体等における地域おこし活動を主とする活動として配置する予定です。

(業務内容)

○ 魚食の普及

○ 映像制作の技術を活かした市の情報発信

○ 移住希望者の現地支援、空き家物件情報収集・発信



④事業の内容

この事業の目的や、具体的に行う取り組み

⑤財源

この事業を実施するために必要となるお金がどこから来ているか

⑥経費内訳

財源が、主にどのようなことに使われているか

[単位: 千円]	
ふるさとづくり基金	60,899
経費内訳	
協力隊報償費	32,130
協力隊活動費	27,951
協力隊募集経費	818

(3) 暮らしの情報編

- 氷見市のホームページが新しく・使いやすくなりました
- 便利で簡単！マイナンバーとコンビニ交付サービス
- お父さん・お母さんの子育てをお手伝い
- 災害・緊急時はこのようにお伝えします
- 災害・緊急時の指定避難場所
- 市庁舎フロアをご案内
- 各課のしごと
- 庁内電話番号簿

(3) 暮らしの情報編

1 氷見市のホームページが新しく・使いやすくなりました

■平成28年4月1日から、氷見市のホームページが新しくなりました。これは、市民とホームページ関連事業者で組織した検討委員会において、日本一「市民にやさしい」「市民の声が反映される」「進化していく」ホームページの実現に向けて検討し、公開に至ったものです。この公開がゴールではなく、これから市民の皆さんにとってより親しみやすく、また使いやすいよう改良を重ねていきます。ぜひ、パソコンやスマートフォンなどで、新しくなったホームページに遊びに来てください。

ホームページへのアクセスはこちらから ▶ www.city.himi.toyama.jp/

市が保有する情報を効果的に発信

調査の結果、市として持っている有用な情報が効果的に発信されていないという実態がわかりました。これらをふまえ、市が保有する情報のあり方について見直しを行いました。

！ 広報ひみとホームページの情報連帯を強化

広報ひみに掲載された記事よりも多くの写真や、動画の閲覧ができるようになりました。

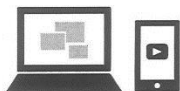
ひみ永くグルメ博やひみまつりなどの取材では、多くの写真を撮影しますが、広報ひみに掲載できるのは数枚です。広報ひみ4月号から起用された「広報記事番号検索機能」により、これまで紹介できなかった写真を掲載したり、動画などインターネットならではの表現でより詳しい情報をお伝えすることができるようになりました。

? 「広報記事番号検索機能」について

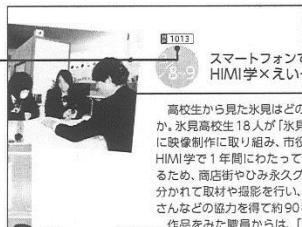
H 1013

広報ひみ4月号から、記事と一緒に掲載されている番号

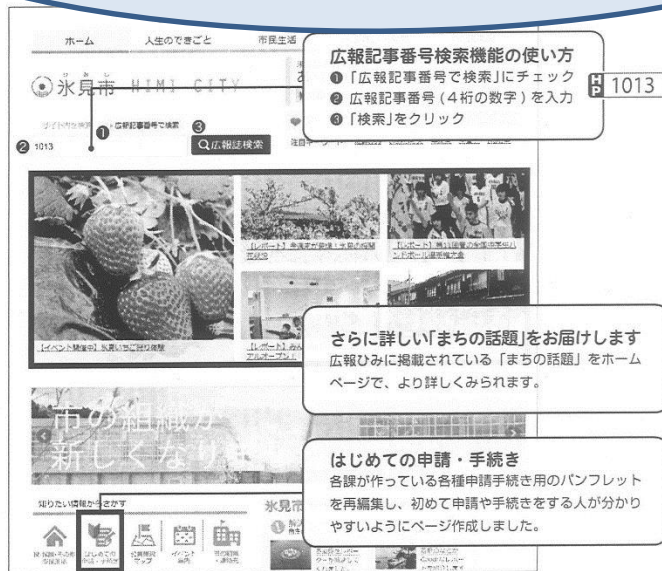
氷見市のホームページ上で気になる記事の番号を検索すると、その記事についての詳しい情報をご覧頂けます。



SNS(インターネット上の交流サービス)で共有(シェア)できます！



ホームページの使い方、子育て情報、各課の仕事など、日頃の暮らしに活用できる情報を掲載



広報記事番号検索機能の使い方
①「広報記事番号で検索」にチェック
② 広報記事番号(4桁の数字)を入力
③「検索」をクリック

さらに詳しい「まちの話題」をお届けします
広報ひみに掲載されている「まちの話題」をホームページで、より詳しくみられます。

はじめての申請・手続き
各課が作っている各種申請手続き用のパンフレットを再編集し、初めて申請や手続きをする人が分かりやすいようにページ作成しました。

✉ 氷見市おしらせメール

登録はこちらから ▶ www.city.himi.toyama.jp/hp/shisei/kouhou/website/mail

大雨や大雪などの気象警報や避難勧告などの緊急情報や、地域子育てセンターからの子育てに関する情報をお届けします。

※旧ホームページで配信してきたおしらせメールを継続して配信希望の方は、登録済みのアドレス宛にお送りしたメールからご登録をお願いします。

▶ 動画配信ページ

登録はこちらから ▶ www.city.himi.toyama.jp/hp/special/movie

市政について分かりやすくお伝えするため、ケーブルテレビで配信されている氷見市政ナビゲーションや氷見市に関する動画を活用し、積極的に情報発信を行います。

お問い合わせ

秘書・市民とともに創る未来政策課

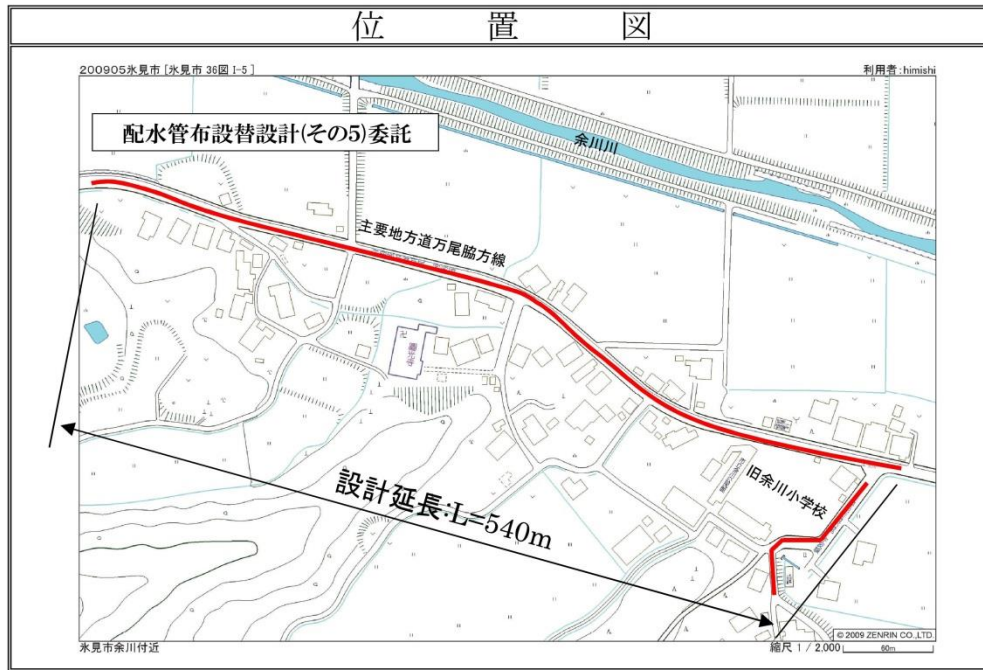
☎ 74-8012 ✉ shiminjyohou@city.himi.lg.jp

余川地区の事業概要

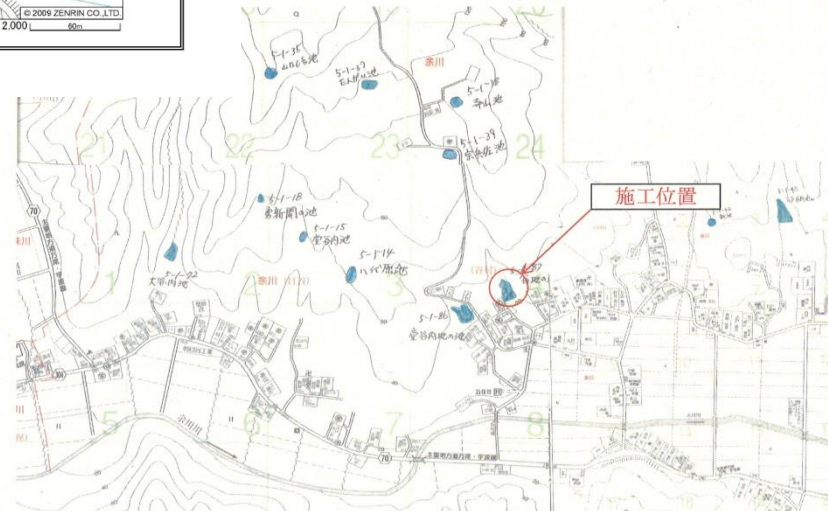
地区の工事箇所

実施 年度	工 事 名	工事 場所	契約(予 定)日	完成(予 定)日	契約金額ま たは予算額
H28	旧余川小学校プール解体工事	余川		H28.8.31	3,758,400
H28	谷地の池廃止工事	余川		H28.10.28	2,775,800
H28	配水管布設替設計(その5)委託	余川		H28.9.16	2,203,200
H28	谷村配水場インバータ・薬液注入設備取替 修繕	余川		H28.11.11	1,857,600
				H28計	10,595,000

配水管布設替設計(その5)委託



位置図



谷地の池廃止工事

■工事以外の事業

実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額	担当課	備考
H28	NPOバス運営推進事業費	公共交通空白地有償運送を実施しているNPO法人(基石地域活性化協議会)に対して補助金を交付するもの。(余川谷)	5,000,000	都市計画課	
H28	健康ウォーキング	地区一般住民を対象としたウォーキング教室を実施(10月5日)	5,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	
H28	健康教室	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義、実践を行なう。(秋頃実施予定)	職員対応	健康課	
H28	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。(9月)	2,100	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	
H28	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。(9月)	3,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	
H28	健診PR活動(旗立て)	地区内に健診PRの旗をたて、住民健診の受診勧奨を行なう(7~9月)	2,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	

■工事以外の事業

28まちづくり
ふれあいトーク

実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額	担当課	備考
H28	土地改良支援事業	余川地区（揚水ポンプ修繕）	100,000	建設課（農林業基盤整備）	実施中
H28	道路の原材料支給事業	ベンチフリューム400型 L=44m	165,607	建設課（道の管理）	完了
H28	道路整備地域支援事業	市道の側溝改修	500,000	建設課（道の管理）	実施中
H28	氷見市有害鳥獣被害防止対策補助金	電気柵 5件	215,000	農林畜産・いのしし等対策課	
H28	中山間地域等直接支払	農業施設の整備（農道、水路等の補修） 余川（1,682,361円）、谷村（550,851円） 営農活動（農業機械購入等）への支援	2,233,212	農林畜産・いのしし等対策課	
H28	多面的機能支払交付金	農地保全活動（草刈り・泥上げ等） 農村環境保全活動（花壇の造成等）へ支援	7,855,448	農林畜産・いのしし等対策課	
H28	里山再生整備事業	県民参加の森づくり	150,000	農林畜産・いのしし等対策課	
H28	地域コミュニティ活性化事業	ふれあいペタンク大会	17,000	中央公民館	
H28	地域コミュニティ活性化事業	陶芸教室	16,000	中央公民館	
H28	地域コミュニティ活性化事業	余川地区どでカボチャ大会	32,100	中央公民館	
H28	地域コミュニティ活性化事業	余川公民館祭り	17,000	中央公民館	
H28	地域コミュニティ活性化事業	そば打ち教室	12,700	中央公民館	

質疑応答

- ① 少子高齢化ならびに人口減少が進んでおり、僅々の課題であると考えます。今年度、新規事業として「企業誘致強化」がありますが、どの様に展開されますか。
- ② 「もっと知りたい・伝えたいふるさと氷見の今年の仕事 お金の使われ方 平成28年度分かりやすい予算書」が発行され、賛否両論あると思いますが、次年度以降も発行されるのであれば「効果」を教えてください。市民が知りたいのは、費用対効果です。
- ③ 今年度、不法投棄対策、スーパー農道沿い除草、交通安全標識劣化対応等、依頼事項を早急に対応していただきありがとうございました。

① 企業誘致強化について

回答：平成28年度予算では「企業誘致強化事業」として6,561千円を計上しています。企業に立地していただくためには、メリットとなる設備投資などへの助成金や立地しやすい具体的な場所などの提示が必要です。このため、企業誘致強化事業では、企業への働きかけや立地の申し出に速やかに対応できるよう、立地に適した候補地を5箇所選定するため地理的要因や各種規制などを調査中です。10月末には調査を完了する予定であり企業訪問などで活用していきます。また、氷見市への企業誘致を促すきっかけづくりとして、高岡市・小矢部市と当市の3市合同で、首都圏在住企業や氷見出身の浅野総一郎翁ゆかりの企業を対象としたビジネス交流交歓会を開催する予定です。企業誘致の方向性としては、観光業、水産加工業などの氷見市の地場産業を更に発展させる企業や、環境やICTなど時代の先端をいく技術を有するなど成長が見込める企業、そして在宅勤務など柔軟な働き方で新しいライフスタイルが実現できる企業などの誘致を考えています。現在、大浦地内で総面積11ヘクタール規模の工場団地を計画中です。用地買収がほぼ完了しており、この秋から造成工事を開始する予定ですので、今後この団地への企業誘致を進めていきます。

② 分かりやすい予算書の「効果」について

回答その1：「わかりやすい予算書」発行の効果について

この「わかりやすい予算書」は、重要な市政情報発信手段の1つであることから、市内全戸への配布、市政ナビでの情報発信を行ったほか、ふれあいトークにおいても説明資料として活用させていただいており、多くの市民の皆様からは、氷見市の財政状況や個別事業への理解が深まった等のお声をいただいております。

市民の皆様におかれましては、この冊子を通して氷見市が取り組む事業について理解を深めていただくとともに、事業内容について各地区、各団体において大いにご議論いただき、「こんな事業があればいい」、「事業内容をこう改善すればもっと活用しやすい」等のご意見やご要望を、担当課へお寄せいただきたいと考えております。

回答その2：事業の過年度における「効果」の記載について

「わかりやすい予算書」を発行後、予算だけでなく、予算付けされた事業の「効果（事業実績）」を広く、わかりやすく周知する必要があるのではないか、とのご意見やご要望を市民の皆様からいただいております、市民の皆様からお預かりした「公金」の使用結果及びその効果を、どのような形でこれまで以上に積極的に情報公開を進めるかが、次の課題であると認識しております。

ご提案のありました「分かりやすい予算書」への過年度効果実績を掲載することについては、予算の公表時期と決算の取りまとめ時期がずれている事等から、発行時期が9月以降になってしまうなど、予算書の作成が大きく遅れることから、市といたしましては別の形で情報発信が必要である、と認識しております。

予算については、昨年10月に作成いたしました「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標に沿った形で工夫して編成したものであることから、この基本目標の達成状況を積極的に情報発信し、その「効果」をお伝えできればと考えております。

③不法投棄対策、スーパー農道沿い除草、交通安全標識劣化対応について

回答：余川地区からの要望で、今年6月28日に不法投棄防止看板を16枚設置しました。また、スーパー農道沿い除草は5月30日に実施しました。

今後とも市と住民が協働で「住みよいまちづくり」に努めて参りますので、ご協力お願いします。

④熊の出没やイノシシの被害について

田畑では、電気柵や鉄柵などによって被害に合わないように対策をしています。全国各地では人が被害に遭ったという報道もされています。山を抱えた私たちも例外ではないと思っています。氷見市としては、どのような考えまたは対策をしていますか。

最近では、夜にウォーキングしている人や歩きでの外出なども大変危険ではないかと思っています。

④熊の出没やイノシシの被害について

回答：県内においてイノシシによる人身被害は報告されていませんが、クマによる人身被害は発生しています。
被害に遇わないためには、イノシシに出会わないよう、またクマに遭遇しないように注意して行動することが一番大切です。
詳しくは、チラシを参照願います。

- ⑤ 碁石の防災無線が聞こえにくいので、聞こえやすくして欲しい。
- ⑥ 市谷橋が落ちた場合、道が無いため五柱社までの道を開通して欲しい。
- ⑦ 市谷橋の下 of 川幅が狭くなっているので何とかして欲しい。（増水したら落ちるかも。）

⑤ 碁石の防災無線について

回答：余川地区には、余川第四公民館と余川地区防災センターの2箇所防災行政無線を設置していますが、目谷地区には旧上余川小学校前の碁石地区防災センターから放送しております。

防災行政無線を設置する際には、地形や集落の状況等を考慮して設計しており、また、完成時においても音声到達の試験も実施しております。しかしながら、防災行政無線放送は、雨風などの気象条件や障害物などに大きく左右されます。聞こえないというご意見をいただく一方、近くの方からは、うるさいというご意見もいただいております。現在、少しでも聞き取りやすくなるよう大雨警報等の放送スピードを調節するなどの工夫しております。

また、非常時の警報等の案内は防災行政無線だけでなく、①テレホンサービス（0180-99-7777）に電話していただければ、録音された放送内容を確認いただくことができます。また、②市のホームページや③能越ケーブルネットの92、93チャンネル、④氷見市お知らせメールでの配信なども行っております。皆様には是非、いろんな手段で情報を取りに行ってくださいますようお願い申し上げます。

そして、今年度から防災ラジオの導入を進めてまいります。今年度は、学校等の施設や災害時に防災活動に携わっていただく自治振興委員や自主防災会長、民生委員などの方々に1,000台を配布する予定です。更に、来年度以降も配布する範囲を広げるよう検討してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

⑥市谷橋が落ちた場合の対策について

回答：貴重なご意見ありがとうございます。

大きな災害に対する不安な気持ちは十分理解できますが、すべての事象を想定した対策を講じることは決して得策とはいえませんが、経済的ではありません。

しかし、いかなるリスクに対しても、対応策を考えておくことは非常に大切なことです。

万が一、市谷橋が落橋した場合は、その復旧まで国道415号や主要地方道万尾脇方線を迂回していただきますようお願いいたします。

ちなみに、市谷橋は昭和50年に架設されております。

県において橋梁点検を実施しておりますが、現在異常は認められておりません。

⑦市谷橋の下の川幅が狭くなっていることの対策について

回答：市谷橋下流の浚渫につきましては、ご意見を伺ってすぐに県土木へ要望してまいりました。
県土木では、現地を確認の上対応を検討していくとの返事をいただきました。

⑧子どもが遊べる（遊具）公園を作って欲しい。

⑧子どもが遊べる（遊具）公園整備について

回答：現在、氷見市の拠点施設となる朝日山公園整備を行っております。朝日山公園では、利用者である市民の和を広げ、専門家や行政と連携し、市民とともに自らが「使うこと、考えること」を一緒に考え、人が賑わい、多世代の方々が楽しめるような公園整備を行ってまいります。

朝日山公園ではその豊かな自然の中で、子どもらが自らの工夫で遊びを生み出し、遊びを通して、自らの創造性や主体性を向上させていただけるものと考えております。

また市内には60箇所の公園があり、総合遊具・ブランコや鉄棒、滑り台などが設置されている公園は37箇所ございます。

- | | |
|------------|-----------------------------------|
| ・総合遊具がある公園 | 朝日山・島尾海浜公園など |
| ・ブランコがある公園 | 22箇所（朝日山・島尾海浜・十二町潟水郷・藪田児童・鞍川児童など） |
| ・鉄棒がある公園 | 15箇所（朝日山・島尾海浜・十二町潟水郷・藪田児童・鞍川児童など） |
| ・滑り台がある公園 | 29箇所 |

⑨地籍図の利用について

本年2月に、余川地域森林振興会を設立し、山林の集約化による効率的な森林整備事業に着目し実施しています。

しかし、南山地区の地籍調査は昭和57年度に実施しましたが、その成果を利用することができない状況です。早急に利用できるように整備してほしい。

⑩固定資産税について

地籍調査が終了した地区で、登記面積に応じて課税されていますが統一されていないようです。公平に処理して欲しい。

⑪平成28年度予算について

北の橋環境整備事業について、北の橋の架け替え工事は県が実施していますが、なぜ市で高欄や親柱を配した実施設計委託費を計上する必要があるのでしょうか。県の調査設計の段階で協議していれば、市は負担しなくても良いのではないのでしょうか。

⑫ 決算について

氷見市の予算執行にあたって、議会で次の(1)～(3)の問題点が指摘され新聞等でも報道されています。

- (1) サイクルステーション整備においての不適切な事務処理
- (2) 庁舎前の私設ポスト
- (3) 漁業交流施設整備の際の計画見直しによる交付税の未交付

これらの問題の処理にあたっては、市民の税金を使用して処理されており、市民の税金について認識が薄いように思う。今後は、このような問題が二度と起きないようにするために、どのような処置をすべきか具体的に示して欲しい。

⑬ここ5年ほど自治会でスーパー農道の法面の草刈りを行っています。その間に草刈りが非常に危険であるため市に要請をしましたが、その時点ではその様な場所は氷見市でも多々あるとの事で、市の方からは特殊な乗用草刈機を貸し出すことができるとの話がありました。しかし、それを使用するためには大型特殊の免許が必要なため、あまり現実的ではないと考えます。

また、法面の草刈りをする場所は、高い所で約8m両側約200mほどの所を草刈機を使用して行っています。急な傾斜であるにも関わらず、作業を行う者の中には高齢者が多く、安全装備を施していないこと、また足元が不安定なことから、刈った草に足をとられ転倒や滑落の危険性を持っています。

さらに、草刈機の歯が回転しているため、他者に怪我を負わせてしまう危険性から重大な事故に繋がる恐れが考えられるため、市の方で草刈をしていただけないでしょうか。

おらっちゃ創生に 向けて

我ながら、バカがつくほどだと思う
この地域を思う心は。

はじめよう。
MY地方創生
(おらっちや創生)

森杉 國作さん

昭和16年生まれ、八代在住。八代郵便局退職後、八代地区自治振興委員長に就任し、八代小中学校の統廃合問題に取り組む。八代環境パトロール隊の結成や、会長を務めるNPO法人八代地域活性化協議会が県内で初めて地域住民が主体となってNPOバスの運行を開始するなど、社会活動に精力的に取り組んでいる。その他、八代地区社会福祉協議会長や氷見市シルバー人材センター理事長などを歴任。





氷見元気やさいの会



意見交換会

余川地区代表
猶明 孝信 様